

府政報告 No.1576

日本共産党京都府会議員団
発行 1999.6.24 TEL 075-414-5566 FAX 075-431-2916

6月府会が開会。新井府議が代表質問に。一般質問には、梅木・島田・まえくぼ・みつなが府議が立ちます。

京都府議会6月定例会は、6月24日開会しました。代表質問は29日、30日の2日間行われ、日本共産党京都府会議員団からは、29日午後2時頃から新井進幹事長が質問に立ちます。この模様は、KBS京都テレビで中継されます。一般質問は7月1日、2日の2日間行われ、日本共産党からは、梅木のりひで、島田けい子、まえくぼ義由紀、みつなが敦彦府議が質問に立ちます。一般質問の実施日時は、6月29日に決定される予定です。

舞鶴の海上自衛隊護衛艦による実弾誤射事件で、意見書を全会一致で採択

海上自衛隊の護衛艦「はるな」による20ミリ機関砲の誤射と、4ヶ月もの間その事実を公表をしなかった問題で、6月24日の京都府議会本会議で、内閣総理大臣と防衛庁長官への意見書案が、全会派共同で提案され、採択されました。

意見書の全文をご紹介します。

海上自衛隊護衛艦による実弾誤射の原因究明と再発防止に関する意見書

本年2月18日舞鶴港に停泊中の海上自衛隊第三護衛艦群の護衛艦「はるな」から、高性能20ミリ機関砲の実弾が誤射されていたことが、6月18日になってあきらかになった。

今回の事故は、舞鶴市から青葉山方面に向けた誤射であり、一步間違えれば大惨事につながりかねない極めて危険な事態であったと認識せざるを得ず、さらに6月18日にちまで公表されなかったことから、自衛隊に対する国民の信頼を著しく損ねるものであり、京都府民の声明と財産を守る立場から極めて遺憾であると言わざるを得ない。

よって、政府におかれては、この度の事故の事実関係の究明を徹底的に行うとともに、二度とこのようなことが起こらないよう、厳正かつ誠実な対応をとられるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成11年6月24日

内閣総理大臣 小 淵 恵 三 殿
防衛庁長官 野呂田芳成 殿

京都府議会議長 小牧誠一郎